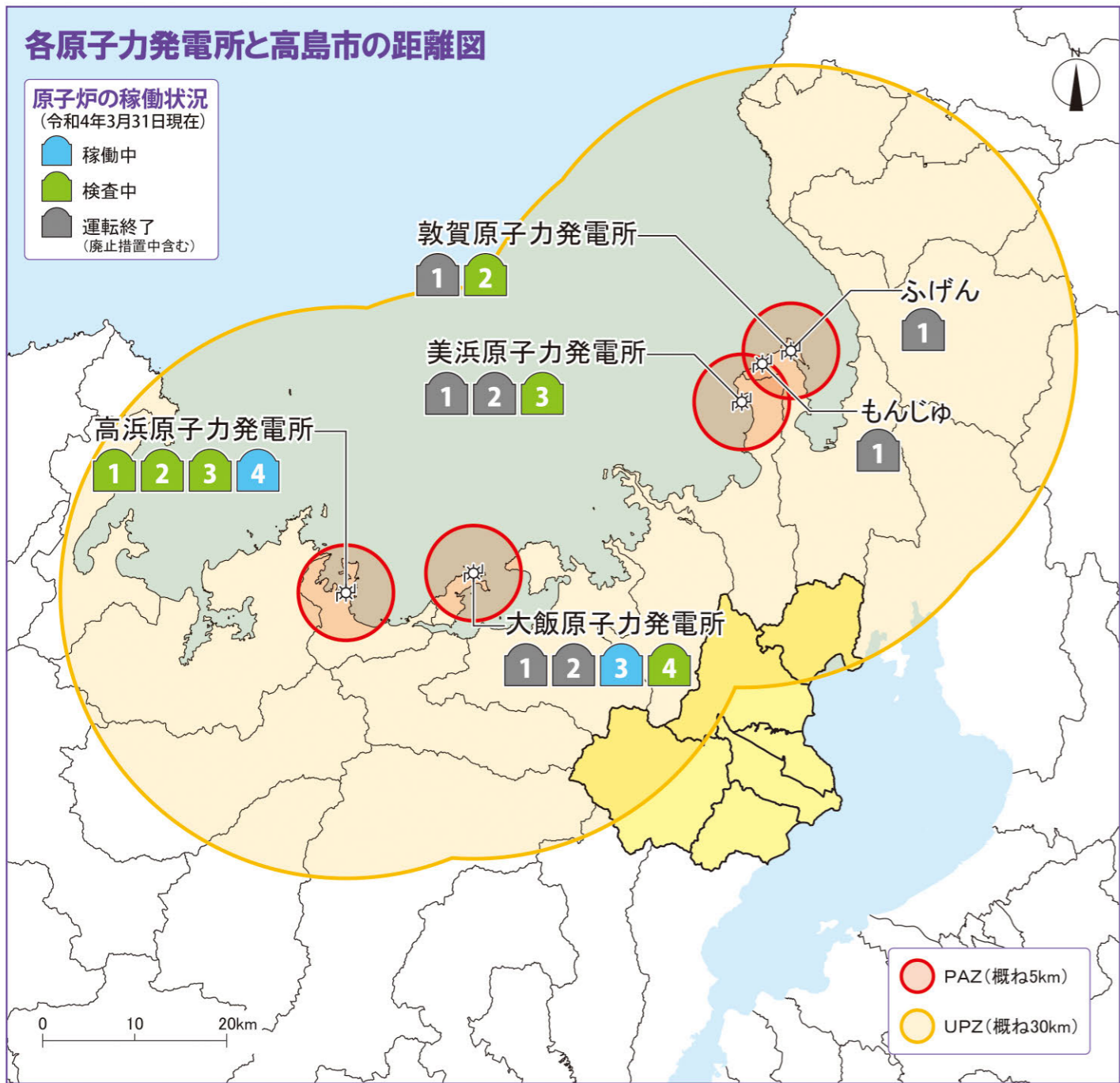


◆高島市における原子力災害について

原子力災害とは、原子力発電所などからみなさんの生命・身体や財産に被害がおよぶ放射性物質または放射線が放出される災害のことです。
地震に限らず、原子力発電所に異常が発生した場合に備えて、高島市では原子力災害住民避難計画を策定しています。現在、隣接する若狭地域には、15基の原子力発電所が設置されており、そのうち、再稼働に向けて6基の検査が実施されています。(令和4年3月31日現在)



PAZ (Precautionary Action Zone)

急速に進展する事故において、即時避難を実施する等、放射性物質の環境への放出前の段階から**予防的に防護措置(避難等)を準備する区域**(概ね半径5km圏内)

UPZ (Urgent Protective action planning Zone)

影響を最小限に抑えるため、**緊急時防護措置(避難、屋内退避等)を準備する区域**(概ね半径30km圏内)

モニタリングについて

放射性物質や放射線は、五感で感じるできません。そのため、モニタリングポストやモニタリング車等での放射線量を測定しています。測定結果については、テレビ(びわ湖放送のデータ放送)やインターネット(滋賀県環境放射線モニタリングシステム)等で確認することができます。

詳しくは… [滋賀県 モニタリング](#) 検索

滋賀県版UPZ(緊急時防護措置を準備する区域)について

滋賀県は、「UPZ(緊急時防護措置を準備する区域:半径30km圏内)」、「気象条件」、「周辺の地形」等を考慮して、独自に行った放射性物質拡散予測シミュレーション結果を踏まえ、滋賀県版UPZを設定しました。
高島市では、この滋賀県版UPZを基に、原子力災害時には、原子力災害への対策を実施します。
※高浜原子力発電所については、大飯原子力発電所の避難措置を準用し防護措置を実施します。

